

授業と履修について

○まずは「学修要覧」をよく読むこと。そして卒業まで必ず保管すること。

○授業や履修に関わる連絡は、UEC 学生ポータル（電子掲示板）を通して行われます。毎日、UEC 学生ポータルを確認すること。

○分からないことがあれば、教務課 2 番窓口まで質問に来てください。

本館 1 階（自動ドアから入ってすぐ）

平日・土曜日：9 時～17 時（先端工学基礎課程で対面授業のある曜日は 20 時まで）

○科目と単位について

「学修要覧」の第 2 章および付録 C カリキュラム表で、どのような種類の科目があるのか、卒業までに修得すべき科目と単位数はどれくらいあるのか確認しましょう。

○履修について

「学修要覧」の第 3 章で、履修登録について確認しましょう。

「履修登録関係日程表」で、今学期の履修登録の日程について確認しましょう。

「時間割」や「シラバス」で、今学期履修する授業の計画を考えましょう（1 年生のうちはほとんどが必修ですが、2 年生以降は選択できる科目が増えていきます）。

1 学期あたりに履修登録できる上限単位数を定めた CAP 制度について、「学修要覧」の第 3 章で確認しましょう。

○休講・補講について

休講は、UEC 学生ポータルで周知します。授業内に先生から指示されることもあります。

休講があった場合などに、臨時に追加授業を行う補講が実施されることがあります。補講についても、UEC 学生ポータルで周知します。また、授業内に先生から指示されることもあります。土曜日が、補講のための「授業等調整日」として設定されています。

○試験について

「学修要覧」第 3 章で、期末試験の注意事項などについて確認しましょう。

期末試験は、試験 1 週間前に発表される試験時間割により行われます。また、授業内に先生から日程が指示されることもあります。

○欠席について

病気・忌引き・交通機関の遅延で授業を欠席した場合、教務課 2 番窓口で欠席届を発行します。

情報理工学域 履修関係Q & A

過去の新入生オリエンテーションにおいて、質問された事項です。参考にしてください。

※昼間コース及び夜間主コース共通

Q1 シラバスとはどういうものですか？

A1 授業科目の主題及び達成目標、授業内容とその進め方、教科書、参考書、成績評価方法及び基準などについて具体的な記載がなされた詳細な授業計画のことをいいます。大学ウェブサイト一般公開されていますが、オンライン授業に関する情報等を確認するためには、学務情報システムにログインし、閲覧する必要があります。

Q2 授業はどのくらいまで欠席できますか？

A2 履修規程では出席が3分の2に達しない場合は、その授業科目の受験を認めないこととなっていますが、理工系の科目は、積み重ねが大事であり授業に出席していないと理解できなくなるので、常時出席するよう心掛けてください。

Q3 1年次の間に2年次以上の科目は履修できますか？

A3 各科目には履修学期が定められているため履修できません。

Q4 前学期授業時間割を見ると選択制がないようですが？

A4 1年生の場合は、類専門科目を履修していくうえでの基礎科目がほとんどで、必修であるためです。学年が進行していくと類専門科目が増えますので、選択制が増えてきます。

Q5 講義の「〇〇第二」は後学期授業時間割上「〇〇第一」と同一の曜日・時限に入りますか？

A5 同一の曜日・時限に入るとは限りません。

Q6 選択科目で同時限に複数科目を開講する場合はありますか？

A6 時間割編成上やむを得ない場合はあり得ます。

Q7 地学や生物学は高校で履修していなくても履修可能ですか？

A7 可能です。

Q8 数学と英語の補習授業は高校ですでに履修していても受講できますか？

A8 受講は自由ですが、成績及び単位は付与しません。（補習授業は昼間コースで開講）

（人文社会科学科目について）※昼間コースの人文社会科学科目は2年次（2024年度）開講となります。

Q9 人文社会科学科目は毎年同じ時間帯となりますか？

A9 時間帯は同じですが、科目によっては時限が変わることがあります。

Q10 人文社会科学科目で同時限の科目を2科目履修できますか？

A10 同一時限の重複履修はできません。

Q11 共通単位の履修方法について

A11 総合文化科目、実践教育科目、専門科目の中から卒業に必要な単位の他に、共通単位を修得しなければなりません。各類によって必要単位数が異なりますので、詳細については学修要覧第2章第2.5.1節を参照してください。

Q12 自由科目はどのような扱いになりますか？

A12 卒業に必要な単位にはなりませんが、成績は記載されます。

Q13 時間割表で教員名の前に付いている○印はどういう意味ですか？

A13 学外の非常勤講師を表しています。

Q14 病気等で試験を欠席した場合追試験はありますか？

A14 科目によっては追試験が認められることがありますが、その場合は欠席届と欠席理由を証明するものを提出してください。ただし、授業担当教員の判断によります。

また、交通機関の運休、インフルエンザ・新型コロナウイルス等の感染症に罹患した場合、忌引きによる欠席については、学修要覧の第3章第3.5節及び付録Eを参照してください。

Q15 休講情報の更新時期はいつですか？

A15 休講連絡があり次第、その都度更新します。

※昼間コース用

Q16 人文社会科学科目でA、Bの授業内容は独立していますか？

A16 科目によっては関連している場合もありますが、どちらか一方のみでも履修可能です。

Q17 選択の第二外国語は、必修で履修する言語と同じものを履修しなければいけませんか？

A17 必修科目よりも高度な内容のため、出来れば同じ言語のものを履修することが望ましいです。

Q18 選択の第二外国語は前学期だけ履修することができますか？

A18 通年で単位が付与されます。前学期だけの履修では単位がつきません。後学期の時間割も確認した上で履修しましょう。

Q19 基礎科学実験A、Bの違いは何ですか？

A19 基礎科学実験Aは物理学の実験、基礎科学実験Bは化学の実験のことです。A、Bともに必修です。

Q20 基礎科学実験A 1・B 1（A 2・B 2）の開講学期について

A20 春タームにA 1を開講しているクラスは夏タームにB 1、春タームにB 1を開講しているクラスは夏タームにA 1がそれぞれ開講されます。時間割を確認してください。A 2・B 2についても同様に秋冬タームでそれぞれ開講されます。

Q21 時間割の空きには他類の科目を履修できますか？

A21 他類履修可能科目基準に適合した科目であれば履修できます。ただし、1年生の場合は、ほとんどが全クラス共通の基礎科目のため、対象となる科目がありません。

Q22 昼間コースの学生は、夜間主コースの科目を履修できますか？

A22 昼間コースの学生は夜間主コースの科目は履修できません。

Q23 インターンシップの内容と開講時期について。

A23 会社、事業所等の協力を得て実際に実習を行うことで、原則として5学期以降の夏季または春季休業中に行われます。

Q24 転類について

A24 1年次後学期終了時に行われます。詳細は UEC 学生ポータルに掲示されますので、時期が近付いたら見逃さないようにしてください。

※夜間主コース用

Q23 夜間主コースの学生が昼間コースの履修可能な科目を履修する場合、手続きはどのようにしたらよいですか？

A23 UEC 学生ポータルに別途掲示されますので、確認してください。また、学修要覧第2章第2.5.3節を参照してください。

Q24 夜間主コースの後学期授業時間割を見ると、一部の人文社会科学科目は開講されていませんが、いつ開講されるのですか？

A24 夜間主コースの人文社会科学科目の場合は、毎年前・後学期合わせて約8科目ずつ開講しており、4年間のなかで1回は開講します。